

| 教科 | 科目 | 対象学年学科 | 単位数 | 教科書 | 使用教材 |
|----|--------|-----------------|-----|-----|--|
| 福祉 | 介護総合演習 | 1, 2, 3年 福祉科 | 3単位 | | 介護総合演習・介護実習 (最新・介護福祉士養成講座10 (第2版) ・中央法規出版) |

| | |
|------|--|
| 到達目標 | <p>①地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>②地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>③健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> |
|------|--|

| 評価の観点 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 介護実習が適切かつ総合的に展開できるよう、介護実習の意義や目的などについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 介護実習や福祉活動などから得た体験についての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域での継続した生活を支援する介護実習について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 介護実習や福祉活動などから得た体験について自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |

| | |
|-------|--|
| 学習の評価 | <p>①実習Ⅰ・Ⅱの施設の理解をはじめとした事前学習や事後の振り返りにおいて【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を評価する。</p> <p>②事例研究などに取り組む態度、ワークシートやレポート作成状況、研究成果の発表状況により【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を評価する。</p> <p>※上記の①・②より多角的、総合的に評価する。</p> |
|-------|--|

| 単元 | 学習内容 | 到達目標 |
|----------------------|--|--|
| <1年> 介護総合演習で何を学ぶか | 介護総合演習の位置づけ 介護総合演習の目的 | <ul style="list-style-type: none"> 介護実習の意義や目的、内容について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 介護実習に臨むにあたっての課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 |
| 介護実習で何を学ぶか | 介護実習の意義と目的 介護実習の種類 実習前の学びと、実習後の学びのいかし方 | <ul style="list-style-type: none"> 介護実習の意義や目的、内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 |
| 介護実習準備、実習中・実習後の学び | 介護実習前の学習の内容と方法 介護実習前の学習の意義と目的 介護実習前の流れ 介護実習中の学習の内容と方法 実習中の態度 日々の行動目標 観察と考察 報告・連絡・相談 実習中の事故や不測の事態への対応 介護実習後の学習の内容と方法 介護実習後の学習の意義と目的 介護実習後の流れ | <ul style="list-style-type: none"> 実習生としての役割や心構え、危機管理や個人情報保護、様々な社会福祉施設の役割等について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 実習を通して、介護の知識や技術を実践と結びつけ、今後の実習における自己の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 実習生としての役割や心構え、危機管理や個人情報保護、様々な社会福祉施設の役割等について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 |
| 実習先の特徴、実習先での学び | 通所介護、通所リハビリテーション グループホーム、小規模多機能型居宅介護 障害者支援施設 | <ul style="list-style-type: none"> 実習施設やその施設での実習を通して学ぶべきことを理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 |
| 実習Ⅰの展開 | 実習Ⅰのねらいと実習モデル 利用者とは出会い、その暮らしを知る介護実習 介護技術の実践を軸にした介護実習 家族、近隣、地域にも目を向ける介護実習 | <ul style="list-style-type: none"> 施設実習での学習に対する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 実習施設やその施設での学習を通して学ぶべきことについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 |

| | | |
|---|--|---|
| <p>< 2 年 > 実習先の特徴 実習先での学び</p> | <p>通所介護、通所リハビリテーション 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実習で体験する場面を想定し、それに応じた対応について演習を通して実践的な技術を身につける。 ・実習記録等による振り返りから、学んだことや気づいたこと等を整理し、今後の課題を明確にし、適切に表現する。 |
| <p>実習Ⅰの展開</p> | <p>実習Ⅰのねらいと実習モデル 利用者との出会い、その暮らしを知る介護実習 介護技術の実践を軸にした介護実習 家族、近隣、地域にも目を向ける介護実習</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち利用者の介護過程の展開（情報収集、アセスメント、計画立案、実施、モニタリング）に関する基礎的な知識・技術を身につける。 ・介護過程の展開後の振り返りから学んだことや気づいたこと等を整理し、今後の課題を明確にし、適切に表現する。 |
| <p>実習Ⅱの展開</p> | <p>実習Ⅱのねらいと実習モデル 介護過程を展開する介護実習</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・介護や福祉の分野における諸課題及びその課題解決に関する基礎的な知識・技術を身につける。 ・事例研究に必要な資料や情報等を集集し、適切に活用する。 ・事例研究の過程やその結果を適切に表現する。 |
| <p>< 3年 > 実習Ⅱの展開</p> | <p>実習Ⅱのねらいと実習モデル 介護過程を展開する介護実習</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・介護や福祉の分野における諸課題及びその課題解決に関する基礎的な知識・技術を身につける。 ・事例研究に必要な資料や情報等を集集し、適切に活用する。 ・事例研究の過程やその結果を適切に表現する。 |
| <p>介護総合演習の 実際</p> | <p>介護総合演習における知識と技術の統合化 介護総合演習における介護観の形成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・介護や福祉の分野における諸課題及びその課題解決に関する基礎的な知識・技術を身につける。 ・事例研究に必要な資料や情報等を集集し、適切に活用する。 ・事例研究の過程やその結果を適切に表現する。 |